

tree コマンドをフロントエンド特化した

WD3A 岡崎 流依

目次

1. 作成に至った背景
2. 完成した物
3. 実際のコード
4. 解説

作成に至った背景

作成に至った背景

フロントエンドの環境で tree コマンドを使うと
node_modules の内容が表示されディレクトリ構造が分かりづらい

完成した物

tree コマンドを打っても node_modules が表示されなくなった

```
$ tree
```

```
..
├── README.md
├── aspida.config.js
├── makeComponentsFile.sh
├── next-env.d.ts
├── package.json
├── src
│   ├── pages
│   │   ├── _app.tsx
│   │   ├── _document.tsx
│   │   └── index.tsx
│   └── theme
│       └── index.ts
├── tsconfig.eslint.json
├── tsconfig.json
└── yarn.lock
```

```
3 directories, 12 files
```

実際のコード

-I オプションを使用し alias を設定した、
今回は設定していないが階層制限などもできる。

```
alias tree="tree -I node_modules"
```

解説

tree コマンドは default で入って無いので Homebrew でインストール

```
$ brew install tree
```

普段使いは zsh なので、 ~/.zshrc に alias を設定する

```
alias tree="tree -I node_modules"
```

再読み込みする

```
$ source ~/.zshrc
```

完成～！！🎉🎉🎉